

平成 30 年度神戸市政に対する要望

平成 29 年 9 月

神戸商工会議所

平成 30 年度神戸市政に対する要望

神戸商工会議所

わが国の経済情勢は、総じて緩やかな回復基調が続いているものの、グローバル経済の中で地政学リスクに大きく揺さぶられる状況にあり、先行きへの不透明感が拭えない状態が続いている。

また、人口減少や首都圏への一極集中が進む中、神戸を含む地方都市においては、新たな都市活力の創造に向けて、都市基盤の整備や、定住人口・交流人口の拡大をすすめ、いかに都市間競争を勝ち残っていくかが重要な課題になっている。

こうした中、神戸は、阪神・淡路大震災から 22 年を経て、長年の懸案であった大阪湾岸道路西伸部の整備や三宮駅周辺の都心再整備が本格的にスタートし、また、神戸空港を含む関西 3 空港一体運営に向けた道筋がつくなど、大きな時代の転換期を迎えようとしている。

今こそ、守りから攻めへの姿勢を鮮明に打ち出し、各プロジェクトの実現を加速化させるとともに、新産業の創造や中小企業のイノベーションを促進させ、都市構造・産業政策の両面で変革を成し遂げることにより、真の意味で、新たな都市バリューを創造することが強く求められている。

以上の観点から、平成 30 年度の市政運営ならびに予算編成において、以下の項目について、着実に実行されるよう要望する。

要 望 事 項

I. 都市基盤の整備

1. 関西3空港一体運営による神戸空港の機能強化・利便性向上
2. 三宮駅周辺都心部及びウォーターフロントの再整備
3. 大阪湾道路西伸部の早期開通及び周辺道路ネットワークの整備促進
4. ポスト開港150年における神戸港の機能強化
5. 新たな都市活力創造や投資誘発に向けた既存施設の再配置と最適活用
6. コンベンションセンターの再整備・機能強化

II. 地域経済の活性化・賑わい創出

1. 賑わい創出・来街者拡大に向けた戦略的なシティ・セールスの推進
2. 新産業創出と既存産業のイノベーション促進
3. 神戸医療産業都市の推進 ライフサイエンス&ヘルスケア産業の振興
4. 3大国際スポーツ大会の開催を契機としたスポーツ産業の振興

III. 中小企業の経営力強化

1. 中小企業の人材確保に向けた支援の強化
2. 中小企業の販路開拓支援の強化
3. 「ひょうご・神戸経営相談センター」の機能強化
4. 資金繰り支援策の強化
5. 中小小売業及び地域商業活性化への支援
6. 神戸ファッション産業（生活文化産業）の振興
7. 公共事業における地元事業者への配慮

I. 都市基盤の整備

1. 関西3空港一体運営による神戸空港の機能強化・利便性向上

重点要望

来年4月からの神戸空港を含む関西3空港一体運営を控え、関西全体の航空ネットワークの機能強化が期待される中、3空港の持つポテンシャルを最大限発揮できるよう、神戸空港の発着枠拡大や運行時間延長等の規制緩和に向けて、国等関係機関への働きかけを強められたい。

また、さらなる利便性向上に向けて、神戸空港から都心部、新神戸に至る南北アクセスの改善を含む域内交通体系の見直しを本格的に進められたい。

加えて、コンセッション後も、神戸空港の価値向上に向けた利用促進活動が重要であり、市が主体となった取り組みや所要の予算確保を継続されたい。

2. 三宮駅周辺都心部及びウォーターフロントの再整備

重点要望

三宮駅周辺の都心再整備においては、6つの駅をつなぎ、交通拠点としての機能や回遊性を高める「えきまち空間」や、中・長距離バスターミナルの整備を着実にすすめるとともに、国や関係事業者との連携を強め、再整備を加速されたい。

同時に、新港突堤西地区の再開発をはじめ、ウォーターフロントの再整備にあたっては、みなとの景観・眺望を意識した文化・集客ゾーンの形成をすすめるとともに、都心再整備と連動の下、両エリアのアクセスルートの整備・改善をはかられたい。

また、結節点にあたる、市役所2号館・3号館の建替にあたっては、周辺の商業・都市機能等とのバランスにも配慮した上、整備計画を検討されたい。

3. 大阪湾岸道路西伸部の早期開通及び周辺道路ネットワークの整備促進

大阪湾岸道路西伸部（六甲アイランド北～駒栄）が事業化され、29年度からは有料道路事業の導入により整備スキームが確定したが、早期整備に向けては、国による所要の予算確保が不可欠である。

については、一日も早い開通に向けて、引き続き国の予算措置を求めるとともに、神戸の新たなランドマークとなる長大橋や高架橋など都市景観との調和を意識した整備を進められたい。

あわせて、同路線の整備効果を最大限に発揮するため、神戸西バイパスや名神湾岸連絡線など周辺道路ネットワークの整備促進にも努められたい。

4. ポスト開港 150 年における神戸港の機能強化

国際コンテナ戦略港湾として基幹航路の維持・拡大をはかるとともに、貨物取扱量・取扱額の増加に向けた集貨・創貨の促進に引き続き取り組まれない。

あわせて、ポスト開港 150 年の将来ビジョンである「神戸港将来構想」に基づき、神戸港ロジスティクスターミナルの整備、高付加価値機能を備えた再輸出型トランシップ拠点の形成を着実に進められたい。

また、物流機能の強化だけでなく、海路による観光の玄関口として、クルーズマザーポートを目指した誘致活動の強化や受入体制、施設整備にも取り組まれない。

5. 新たな都市活力創造や投資誘発に向けた既存施設の再配置と最適活用

従来の枠組みに捉われない都市活力の創造に向けては、次代を担う若者をはじめとする定住人口や交流人口の拡大策に加え、大胆な基盤整備や都市構造の転換により、市内外からのダイナミックな投資を呼び込むことが不可欠である。

については、三宮駅周辺の再整備に留まらず、東西市街地を含めた既存の集客・文化・スポーツ施設等の再配置および民間活力導入も視野に入れた跡地の最適活用を通じて、新たな賑わいゾーンや文教ゾーン等の形成に取り組まれない。

6. コンベンションセンターの再整備・機能強化

MICE 誘致強化に向けて、各都市がコンベンション誘致や施設整備に鎬を削る中、神戸国際展示場を中核としたコンベンションセンターは、施設の老朽化等により競争力の低下・劣後が懸念されている。

2020 年を目前に控えた今、ポスト五輪を見据えた再整備が急務であり、既存施設のリニューアルに留まらず、ファッションタウンなど周辺地域や関連施設を含めたポートアイランド I 期の活性化も視野に入れ、スケール感ある再整備計画の検討に早急に着手されたい。

II. 地域経済の活性化・賑わい創出

1. 賑わい創出・来街者拡大に向けた戦略的なシティ・セールスの推進 **重点要望**

観光ニーズが多様化する中、国内外からさらなる誘客強化をはかるためには、地域の観光資源の発掘や受入環境の整備に加え、官民連携の司令塔の下、中長期戦略に基づいた統一的なシティ・セールスを実施することが重要である。

については、次の項目の取り組みを通じて、一層の賑わい創出、来街者拡大をはかられたい。

- ・ (仮称)神戸 DMO を中核とした一元的な観光マネジメント体制の構築とシティ・セールス機能の強化
- ・ インバウンド需要の取り込みに向けた国・地域等ターゲット別のプロモーション活動の展開、及び多言語対応案内など事業者の受入環境整備に対する支援措置
- ・ 夜間景観をはじめ、一日を通じて六甲山・摩耶山エリアの魅力を愉しめる観光スポットの整備と、公共交通機関を含めたアクセスルートの整備・改善
- ・ 文化財（北野異人館、灘の酒蔵等）や歴史資産（兵庫運河、湊川隧道、旧西国街道等）を活用した街並み整備、賑わい創出
- ・ グローバル MICE 都市として国際会議誘致強化に向けた、文化・公共施設を活用したユニークベニューやアフターコンベンション機能の充実

2. 新産業創出と既存産業のイノベーション促進

航空機・水素エネルギー・ロボットをはじめとする次世代産業の集積を促進すると同時に、既存産業の高度化をはかるため、IoT や AI などを駆使した生産技術の向上や新しい製品・サービスを生み出すオープンイノベーションの仕組みづくりが求められている。ついては、次の項目の実現に向けて検討を進められたい。

- ・ 中小製造業の技術力向上に向けた設備投資等を支援する「中小製造業投資促進等助成制度」や、次世代産業分野への取り組みを支援する「挑戦企業等支援補助制度」の助成対象事業と助成率、助成限度額の拡充
- ・ 試作品の開発・検証に対応できる、3D プリンターや各種工作機械等を備えた公的施設の開設
- ・ 中小製造業のオープンイノベーションを促進するプラットフォームの検討、コーディネート人材の育成
- ・ スタートアップ（成長型起業家）企業の集積・育成を促進する「500 Kobe Accelerator」の取り組みの深化と地元企業との連携機会の提供

3. 神戸医療産業都市の推進 ライフサイエンス&ヘルスケア産業の振興

神戸医療産業都市発の革新的な医薬品・医療機器の開発を支援するため、国家戦略特区等を活用した規制緩和策の推進に取り組むとともに、集積する研究機関・企業・大学と既存産業の相互連携を一層深化させ、産学連携やオープンイノベーションによる成果創出を進められたい。

また、高度専門病院間における医療データの共有化や診療体制の一元化、並びにメディカルツーリズムの受入体制構築を加速化するなど、アジアを代表するメディカルクラスターの実現に向けた取り組みを強化されたい。

4. 3大国際スポーツ大会の開催を契機としたスポーツ産業の振興

ラグビーワールドカップ 2019 を皮切りとした 3 大国際スポーツ大会の開催を控え、広く内外に向けたプロモーション活動の展開により、機運醸成をはかるとともに、スポーツツーリズムを意識した神戸への誘客促進や受入環境整備に積極的に取り組まれたい。

同時に、スポーツ産業を神戸の次代を担う成長産業として明確に位置付け、地元企業におけるスポーツ関連商品・サービス等の新規参入・開発に対する支援や、新たなスポーツイベントの開催誘致策をはかるなど、関連産業の育成・振興に努められたい。

Ⅲ. 中小企業の経営力強化

1. 中小企業の人材確保に向けた支援の強化 **重点要望**

生産年齢人口の減少や首都圏への一極集中が進む中、地元中小企業にとっては、特に若年層の人材確保が喫緊の経営課題になっている。

神戸市におかれては、当商工会議所と連携の下、新卒予定者向けの情報発信や、首都圏・地方都市における人材マッチングイベントの開催等を通じ、地元中小企業に対する人材確保の支援を強化されたい。

あわせて、女性やUターン就業者など、多様な人材確保を促進する労働環境整備に努められたい。

2. 中小企業の販路開拓支援の強化 **重点要望**

当商工会議所は、衣食住など生活関連商材を扱う市内中小企業の販路開拓を支援するため、バイヤーとの商談機会の提供や展示会開催等の事業を展開している。今後、国内マーケットの深耕とともに、海外マーケット開拓への土壌づくりを進めるため、次の取り組みについて支援されたい。

① 首都圏で開催される大規模展示会出展への支援

当商工会議所では、首都圏の大規模展示会（FOODEX JAPAN、東京ギフトショー等）のブースを借り上げ、費用面等の制約により単独での出展が困難な地元中小企業向けに合同出展の機会を提供している。地元企業の販路開拓の成果創出に加え、高品質でセンスの良い商品を一堂に PR することで、神戸の都市イメージ向上にもつながることから、本事業の実施について、所要の予算措置を講じられたい。

② 市営地下鉄駅ナカなどでの中小企業の販路開拓支援

多くの乗降客が行き交う「市営地下鉄駅構内の商業スペース（駅ナカ）」など、市や外郭企業が管理運営する施設を地元企業の情報発信・産業振興の拠点と位置づけ、施設の一部を地元企業の商品紹介及び販売活動スペースとして提供されたい。

③ 海外ビジネスコーディネーター等を通じた海外販路開拓への支援

神戸市海外ビジネスコーディネーター（シンガポール、イギリス、ドイツ）及び海外事務所（上海・天津事務所）を通じ、現地のバイヤー企業や大手製造業等とのネットワークを構築するとともに、現地企業からの取引情報やニーズを市内企業のビジネスマッチングに繋げるスキームを当商工会議所と共同で構築されたい。

あわせて、既存の「海外販路開拓展示会・商談会等出展支援補助制度」の予算拡充並びに、公募期間の延長、対象業種の拡充を図り、利便性を向上されたい。

3. 「ひょうご・神戸経営相談センター」の機能強化

平成 29 年 3 月に、ひょうご産業活性化センターが神戸市産業振興センターに移転し、県・市・商工会議所による「ひょうご・神戸経営相談センター」が開設された。

今後、各機関の支援施策の相乗効果が発揮できるよう、当商工会議所と一層の連携を深めるとともに、創業・販路開拓など各支援機関の役割を明確に定め、支援体制の充実につなげられたい。

また、国が推進する中小企業の経営革新計画策定についても、同計画承認企業に対し、国・県等の既存制度と重複活用可能な助成金など優遇支援策を創設し、「オールひょうご・神戸」で地元中小・小規模事業者の経営力向上に取り組まれたい。

4. 資金繰り支援策の強化

経営力強化や事業革新に取り組む小規模事業者及び創業希望者に対する金融支援策として、以下の施策に取り組みたい。

① 小規模事業者向け神戸市独自資金における融資枠の拡大等

兵庫県制度融資のうち神戸市独自資金である「こうべおうえん」、「こうべ小規模」、「こうべ無担保」の小規模事業者向け3融資における融資枠拡大や金利引き下げ等を通じ、制度利用の利便性を高められたい。

② 利子補給制度の創設

国の伴走型支援事業である経営発達支援計画に基づき、当商工会議所から事業計画策定の支援を受けた事業者に対して、日本政策金融公庫の「小規模事業者経営発達支援資金」を借り入れる際の利子補給制度を創設されたい。

③ 若年世代及びシニア世代の起業・創業促進

次代の神戸を担う若い世代や、技術や経営のノウハウを持ったシニア世代の創業を喚起するため、神戸市内で創業する30歳未満、または55歳以上の創業希望者が県「新規開業貸付」を借り入れする際の信用保証料を市が負担する支援制度を新たに創設されたい。

5. 中小小売業及び地域商業活性化への支援

厳しい経営環境に直面する商店街・小売市場の活性化、賑わいづくりに向け、以下の施策に取り組みたい。

① 地域商業活性化支援事業等の拡充・強化

商店街・小売市場の主体的な取り組みを支援する「地域商業活性化支援事業」並びに「都心商業魅力アップ事業」の補助率や補助限度額を引き上げられたい。また、魅力ある商店街・市場を形成するため、ハード面の支援策として「商店街・小売市場共同施設建設等補助金」の補助限度額の拡充も図られたい。

② 商店街・小売市場の活性化の推進

商店街・小売市場の「応援隊」派遣事業の予算拡充とあわせ、地元事業者や地域のNPO法人等を対象とした地域活性化のための勉強会や交流会の開催等、次代を担うリーダーの育成支援に注力されたい。

あわせて、空き店舗対策を含め、商店街・小売市場内での世代交代が円滑にすすむように事業承継や創業に対する支援も推進されたい。

6. 神戸ファッション産業（生活文化産業）の振興

神戸の都市イメージやライフスタイルの創造につながる生活文化産業の振興に一段と注力するとともに、特に、欧米における日本酒ブームにより輸出量が伸長する清酒産業や、真珠振興法の成立を受けた真珠産業など、神戸を代表する地場産業の海外展開支援を強化されたい。

また、神戸ファッション協会をはじめ、関連団体の事業活動に対する支援を通じ、神戸ブランドの発信強化に努められたい。

7. 公共事業における地元事業者への配慮

公共事業の実施にあたっては、工事の規模や量、発注工種も含め総合的なバランスに配慮しつつ、地元事業者に対する優先的かつ継続的な発注に引き続き努められたい。

また、発注に際しては、施工時期や工期末の平準化をはかるとともに、関連業界の健全かつ持続的な成長・発展を図るため、労務費・資材費等の市場実勢価格を十分に配慮した適正な工事価格の設定に引き続き努められたい。

以 上